

stipule に統覺せるものは、又かくの如き宇宙の全實在
 を受用することも自在無碍なるものでなければならぬ。
 然しかゝる佛陀統覺の構造、その quid juris や quid
 facti に就ては、更に後篇の本佛論に於て精述するであ
 らう。(未完)

25 玄義七下43、53、九上10、文句十一511、九4、玄義六
 上39

次	目	號	前
社會の成立……………			淡野安太郎
美的理念と藝術史的理念(下)……………			井 島 勉
本佛の哲學……………			河 合 陟 明
——特に天台に就て——			

本佛の哲學(二)

彙 報

倫理學研究會

五月廿二日(土) 午後六時半 於樂友會館

アリストテレスの徳論

五十嵐 明氏

印度・佛教學會例會

六月十六日(水) 午後六時半 於樂友會館

天台に於ける「本佛の哲學」批判

河合陟明氏

寄 贈 圖 書

白井二尚、木村素衛、高坂正顯
 高山岩男、西谷啓治、柳田謙十郎 共編

哲 學 年 鑑 第一輯

大 阪 定 價 肆 文
 三 四 五 十 錢

大塚隼太郎著 梅 光 傳

字 和 島 一 二 書 店

同 義に生きよ
 同 零に生きよ

同 同

寄 贈 雜 誌

五月號 全人、思想、法學、回教圈、宗教研究(五ノ一)、文化
 讀書新聞、回教週報、哲學雜誌、經濟論叢一、日本學研究、
 社會學徒、一橋論叢

六月號 思想、全人、政治、丁酉倫理講演集、信濃教育、文化
 日本、哲學雜誌、法學、文化、回教週報、讀書新聞